

科目分類	専門分野Ⅱ	学 年	2 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	成人看護援助論Ⅲ (セルフケアの再獲得に 向けての看護)	学 期	前 期	寺戸 ゆり (看護師) 野村 美会 (看護師) 狩野 芳子 (看護師) 原 百子 (助産師)
		単 位 数	1	
		時 間 数	30	
目的 (ねらい)	セルフマネジメントは、成人が何らかの慢性的な病を持った時に、生活者としてどのように病気と家庭生活、社会生活と折り合いをつけて、自分らしく生きていくかをテーマとし、成人である患者の持てる力を引き出していく看護支援を学ぶ。			
目 標	1. 各疾患の病態と検査・治療について理解する。 2. セルフケア低下状態のアセスメントと評価とは何かを理解する。 3. 外傷や疾病によって、セルフケアが低下した中途障害の対象とその家族を理解する。 4. セルフケアの再獲得に向けての看護について学ぶ。			
授 業 計 画	担当教員：寺戸 ゆり			
	1. 急性期から回復期にある患者の看護（脳梗塞、脳出血）			
	回数	単元項目	内容	授業形態
	1	脳のしくみと働き	大脳の機能局在、脳血管、脳神経など	講義
	2	脳梗塞・脳出血	病態、検査、治療、看護について	講義
	3	クモ膜下出血	病態、検査、治療、看護について	講義
	4	患者の看護 1	1) 意識障害のある患者の看護 2) 運動麻痺のある患者の看護	講義
	5	2	3) 高次脳機能障害のある患者の看護 4) 嚥下障害、排泄障害のある患者の看護	講義
	担当教員：石川 由紀子			
	2. 障害受容が困難な患者に対し、心理適応に向けた看護（関節リウマチ、脊髄損傷）			
	回数	単元項目	内容	授業形態
	1	疾患の病態生理	1) 整形患者の特徴と看護の役割 2) 症状とその病態 主要症状：形態の異常、関節運動の異常、 神経の障害	講義
2	検査・治療・処置を受ける患者の看護 1	1) 脊髄造影検査を受ける患者の看護 2) ギプス固定・牽引療法を受ける患者の看護	講義	
3	2	3) 深部静脈血栓症の予防・看護 4) 褥瘡の予防	講義	
4	3	5) 手術を受ける患者の看護 (手・足・腰部・四肢切断)	講義	
5	4	6) TKA・THAを受ける患者の看護 7) 脊髄損傷の患者の看護 8) 関節リウマチ患者の看護	講義	
担当教員：狩野 芳子				
3. 中途視覚障害者の障害受容と社会参加への看護（糖尿病網膜症、緑内障）				
回数	単元項目	内容	授業形態	
1	眼科解剖・検査	1) 症状とその病態 視機能に関連した症状と関連しない症状 2) 検査時のケア・注意点	講義	
2	疾患の病態生理	白内障・緑内障・糖尿病網膜症について	講義	
3	疾患別の特徴 1	ケース別グループワーク	グループワーク	
	2	ロービジョン・ライトハウス紹介	講義	

担当教員：原 百子			
4. 生殖器疾患と性機能障害の障害受容と心理適応に向けた看護（子宮がん）			
回数	単元項目	内容	授業形態
1	疾患の病態と検査・治療	1) 疾患の理解：子宮がん 2) 症状とその病態生理 3) 検査と治療・処置	講義
2	子宮がんの手術を受ける患者の看護	1) 術前の看護 2) 手術当日の看護 3) 術後の看護 4) 退院指導	講義
教科書	1. 系統看護学講座専門 成人看護学[7] 脳・神経 医学書院 2. 系統看護学講座専門 成人看護学[10] 運動器 医学書院 3. 系統看護学講座専門 成人看護学[13] 眼 [6] 内分泌・代謝 医学書院 4. 病気がみえる 婦人科・乳腺外科 メディックメディア		
参考文献	「疾患別看護過程＋病態関連図」井上智子／佐藤千史編集 医学書院 その他、授業において、その都度紹介する。		
評価方法	定期試験 100%。 1. 急性期から回復期にある患者・2. 障害受容が困難な患者 3. 中途視覚障害者・4. 生殖器疾患 それぞれ100点満点の定期試験を行い、4つの試験の平均点を最終評価とする。		
関連科目	基礎分野：哲学、心理学、社会学、教育学、カウンセリング理論と技法 専門基礎分野：解剖生理学、栄養学、病理学、薬理学 専門分野：基礎看護学、在宅看護論、老年看護学、精神看護学		
自己学習に関する指針	解剖生理学・病理学・成人看護学概論で学んだ知識を踏まえて授業を展開する。		
その他の通知事項	随時質問に応じる。		